

議員が ただ 質した 平成29年度 当初予算 242 のこと

Heisei 29th Initial budget Question

3月定例会は「予算議会」と称され、新年度の一般会計及び各特別会計の審査が中心となります。本会議場でのやりとりはもちろんのこと、改めて各常任委員会で細部にわたる審査をしました。
総質疑数は242！
熱心なやり取りを、会議録と合わせてご一読ください。
すべての項目はインターネットからご覧いただけます。「小川町議会 会議録」で検索してみてください。
※3月定例会の会議録は5月末ごろから見られます。



早期の対応がカギ 認知症対策に期待

Q 認知症初期支援チームを結成することだが、内容は。

A 医師・看護師・介護福祉士等が3人1組で構成し、認知症が疑われる方のお宅を訪問して相談しながら、各種サービスや専門員につなげていきます。すでに取り組む近隣の自治体を参考にしながら、比企医師会との連携を進めていきたいと考えています。

Q 認知症カフェの取り組みとは。

A ケアカウンセリングに近いイメージで、本人や家族の方が集い、地域での日常生活や、その支援等について相談できる場所を想定しています。例えば、週に1回、月に1回でもそういった場所をつくっていただ

た際は、運営に対して上限5000円程度の補助金を支出していきます。現在は、実施できそうなどころに当たっている状況です。

窓口での周知も考えています。

町立学校トイレ洋式化

Q 過去の議会でもたびたび、指摘・要望してきた小中学校のトイレ洋式化。また、昨秋23年振りに開催された子供議会においても改めて要望が上がり、ようやく実現される。詳細は。

A 改築時にすでに洋式化が済んだ西中学校を除く8小中学校において、各階のトイレと教職員用トイレに男女1基ずつ設置します。長期休業中の工事・設置を予定し、子供たちの安全を

社会福祉協議会

Q 議会が提出した要望書の中で、人員配置への財政措置等を求めたが。

A 正職員1名分を追加・確保するとともに、地域福祉委員の配置と育成等に取り組み、組織

体制を強化します。また、従来の各事業や予算前に限った連絡調整会議を、今後は定期的に開き、計画的な事業の進捗を確認していきます。

健康マイレージ事業

Q 県が主導する事業に参加していくとのことだが、取り組みに工夫は。

A 県事業では、歩数によってポイントが加算され、それにより「褒美ポイント」が付き、抽選に参加することができます。また、町独自の取り組みとして、健康事業に参加いただくことで独自のポイントを準備し、抽選に限らず全員にプレゼントすること等も考えています。

配食サービス

Q 今後、事業の方向性は。

A 委託している業者から衛生面の課題として、配食器の見直しを指摘されています。今後は使い切りのパックにすることを検討し、これまでの「届ける・回収」といった2回の訪問から1回になるので単価も下げられると考えています。

地域の協力がカギ 放課後子供教室の開設

Q 新年度中に開設予定の放課後子供教室②だが、開設に向けた取り組み等は。

A 新年度、大河小に開設します。4月広報でボランティアスタッフの募集を始め、6月に児童の募集、7月に説明会を経て、9月の開設を見込んでいます。当面は平日週1回の放課後を予定しています。

広域での観光連携

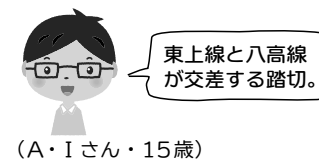
Q 2町1村（小川町・寄居町・東秩父村）による広域での観光連携が始まったが、先の和光市との連携も含めて、新年度の取り組みは。

A 2町1村で特徴的なものを出し合ったコースづくりを予定し、和光市の小中学生を対象に、宿泊学習や社会科見学等で受け入れが可能か考えています。一方で、和光市に社会科見学等で

放課後子供教室として利用が見込まれている、大河小2階の現・算数ルーム。今秋の開設に向けて、「教育活動推進員」や「教育活動サポーター」のボランティアスタッフの募集が行われました。何事も最初が肝心。町で初となる大河地区での取り組みに期待「大」です。



Mini Column
オガワマチのこと
ギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「小川町のおすすめ
スポット」



解説 放課後子供教室②

地域の方々の協力を得て「学びと体験の場」として、平日週1回、3時間程度開設します。今後学童クラブとの調整・連携を図ります。